

手引き2

接続語に強くなる！

接続語を正しく理解することは、文と文や段落と段落のつながりをとらえるためにとっても重要なことなんだよ。
文や段落のつながりを正しくとらえる力は、内容の把握にも、構成の把握にも絶対に必要な力だからね！

一、接続語って？

前後の文節や文、段落などをつなぐ文節を接続語といいます。

前後の文や文節をつないで、その関係を表します。

接続語にはいくつかの種類があり、種類によつて働きが決まっているため、次にくる内容が予測できます。

二、「接続語の問題」攻略法

1、文章は接続語をチェックしながら読め！

接続語が出てきたら印を付ける習慣を付けておこう。

設問の答えのヒントは接続語の前後にあることが多い。

空欄に接続語を補う問題は、前後の文章をしっかりと読んで関係を考える。

2、主な接続語とその働きを知れ！

「順接」：だから・それで・すると・したがって
前の内容が原因・理由、あとにその結果がくる。

「逆接」：しかし・だが・ところが・けれども
前の内容と反対の事柄があとにくる。

「並立・累加」：また・そして・そのうえ・しかも
前の事柄にあとの事柄を並べたり付け加えたりする。

「説明・補足」：つまり・なぜなら・例えば
前の事柄をあとでまとめたり補ったりする。

「並立・累加」：または・あるいは・それとも
前の事柄とあとの事柄を比べたり選んだりする。

「転換」：さて・ところで・では・ときに
前の事柄から話題を換えて別の事柄を述べる。

3、次に来る内容を予測して読め！

空欄補充の問題は、前後の文章の関係を考えて選ぶ。接続語の前後の内容は、接続語の働きによつて予測が可能。

理解の道すじ

どれが接続語なの？

何と何を つないでるの？

何のために使うの？



どんな働きをするの？

問題を解くことで
実感しよう！

どんな使い方があ
るの？

身に付けた力でこ
んなことができる！

文章の続きが予測可能

文章をねじれなく書ける

テストに役立つ

ステップ2

ステップ1